



ともしび

世田谷区立三宿中学校
夜間学級だより

7月特別号

校長 岡部 正直

《ゲストティーチャー特集》

【ねらいと昨年度の概要】

三宿中学校夜間学級には十代から七十代まで、十数か国、80名以上の生徒が在籍しています。人生の苦労を重ね夜間学級に学びの場を得た者や日本とは異なる母語・文化を有する者など、様々な生徒たちが机を並べ、日々勉学に励んでいます。

本校夜間学級では、様々な生徒が自らの体験や文化を発信し自信をもつ機会とするとともに、本校夜間学級と生徒の姿を多くの児童・生徒のみなさんに知っていただくため、昨年度より生徒によるゲストティーチャー派遣の取り組みを始めました。

昨年度は、6つの国・地域の出身の十代～七十代の夜間学級生徒・延べ29名を世田谷区内外の小学校3校、中学校2校に派遣しました。このなかで、「私が今小学校に通っていることは幸せなことなんだと思いました。」「これを機に私はこれから恥ないよう生きていこうと思いました。」など、大きな感動・刺激を受けたとの感想を寄せていただいています。

【昨年度の派遣例より】

【A小学校・3年生】

アフガニスタン出身の生徒はパワーポイントを使って、アフガニスタンの自然や町並みを紹介し内戦で苦しんだ体験から平和の尊さを伝えました。

ベトナム出身の生徒は民族衣装や羽根の足けりを紹介。子どもたちも一緒に羽根をける練習をしました。

中国出身の生徒たちは中国の代表的な農民の踊りを子どもたち全員と踊りました。



夜間学級の生徒が子どもたちに、「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつを各国のことばで話し、みんなで練習しました。

最後に、子どもたちから、お礼に花笠音頭や遊びの紹介・披露があり、大いに交流を深めました。

【A中学校・1～3年生】

70才の日本人生徒、タイ出身の生徒、アフガニスタン出身の生徒が参加しました。

■日本人の生徒の話（要旨）

子どもの頃、子守や農家の仕事が忙しいときは学校へ行けなかったこと、お金がなく修学旅行へ行けず卒業式の写真も買えなくて悲しかったこと、学用品がないときはクラスメートがプレゼントしてくれ涙が出るほど嬉しかったこと、家が貧しく中学校へは行けなかったが、度々中学に行く夢を見た。今その夢が叶いとても嬉しい。でも、年齢を

重ね、なかなか覚えられませんが、何事も一番理解できるみなさんは、ぜひがんばって欲しい。

【三宿中学校昼・3年生】

3月9日に、本校昼間部3年生全員との交流・ゲストティーチャーを行いました。

これには、夜間学級の生徒会役員も含め10名の生徒が参加しました。

このなかで、中国の踊りの披露（右写真）やインドの踊り、ベトナムの民族衣装の紹介、子どもの頃勉強できず大変苦労した中国帰国者やインド出身生徒の感動的な体験発表がありました。

昼間部生徒から「感動した」「自分もがんばりたい」など、多くの感想文が寄せられました。



【体験後の感想】

■小学校6年生の感想文より

先日はきていただいて、ありがとうございました。私が今、小学校に通っているということは幸せなことなんだと思いました。この事を今まで知らずにいて、あたりまえのことだと思っていました。それをみなさんが教えてくださいました。本当にありがとうございました。私はみなさんの話を聞いていて大変だとおもいました。毎日汗を流しながら家を手伝ったりするのは、私にはできないことだと思います。これから、私は小学校を卒業して中学校に行きます。いろんな勉強をがんばります。みなさんも、がんばってください。

■三宿中学校昼3年生の感想文より

◆今日はすごく楽しかったです。中国のおどりやインドのおどりを初めて見ました。ベトナムの方の髪の毛をまとめるのが本当にすごいと思いました。夜間学級があるのは知っていて、どういう人達がいるのか気になっていました。でも、みなさんとてもおもしろく楽しい方がたくさんいて夜間学級が楽しそうだと思います。

◆今日はダンスを見せてくれたり、みなさんの体験を話してくれたりしてありがとうございました。私たちがどれだけ幸せかを実感できました。

これを機に、私はこれから恥ないよう生きていこうと思いました。そして時間を大切に、世界の役に立ちたいと思いました。

貴重な体験を話していただいて、本当にありがとうございました。

【今年度の手順】

今年度は、世田谷区内小中学校に7月中旬にご案内の文書をお渡しいたします。〈「ゲストティーチャー派遣について（依頼）」、「三宿中学校夜間学級ゲストティーチャー派遣申込書」〉また、後日同様の文書をホームページにも掲載いたします。

それをもとに、ご検討いただき、希望される場合は、夜間学級副校長宛に「申込書」をお送りください。ご希望にそうように準備し、9月以降、生徒の派遣を行っていきます。

なお、準備の関係上、原則として実施日の1ヶ月前までにお申し込みいただくことになっていますので、ご了解ください。

多くのお申し込みをお待ちしています。